

地域づくり提案事業 成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 20 年度

市町村名	秩父市					
提案事業名	バイオマスエネルギー研究を中心とした環境意識啓発事業					
事業期間	19年度 ～ 19年度					
成果指標	(成果を検証する指標) ・ 秩父市吉田元気村発電施設の視察者数 ・ 環境意識啓発による環境意識が向上した割合					
	(成果検証の具体的な方法) 秩父吉田元気村発電施設の視察者数の集計 及び、元気村視察者に対するアンケート実施により環境意識が向上した人を集計する。					
	(成果の目標値に対する実績)			達成度	A	
	従前値 (19年3月時点)	1,300人	目標値 (21年3月時点)	4,000人	実績値 (21年3月時点)	3,403人
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	2,800人 2,344人	稼働率 (%)	(目標) (実績)	－ －
住民への公表状況 及び特記事項		主要な事業の成果報告書等において目標値を住民に公表しました。(インターネットにも掲載)				

【事業効果の整理・原因分析】

平成19年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① サニテーション調査事業	○	単独浄化槽の放流水と生活雑排水を地場製品のスギチップ・炭等を使用した装置で処理する実験を市民を交えて実施し、浄化の効果が実証された。その結果、炭による水質浄化は、埼玉県の下川再生事業にも利用されることとなった。
② 環境学習施設整備事業	○	一般家庭からの回収も平成19年度は約70リットルであったのに対し、平成20年度は、約800リットルに達し、着実に回収システムが構築されつつある。また、BDFの供給車両を工夫し、より啓発効果が期待される移動図書館などへの供給を開始した。(計5台)
③ 多商品型の森林形成事業	○	森林の公益的機能の向上と雇用の創出を図るため、市有林を間伐し、間伐材をバイオマス発電に用いる杉チップの原料として提供し、地域住民と都市住民による薪拾い体験プログラムを展開し森林の循環利用の学習に応用した。また、間伐材跡地には流域・都市住民、地元の中学・高校生などと協働によりメープルシロップの採取などに利用できるカエデ等の広葉樹の植樹を1000本実施した。
⑤ 荒川中学生サミット開催事業		補助金充当外事業
⑥ スウェーデンとの交流事業		補助金充当外事業

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	①事業では、地場製品(間伐材)及びバイオマス発電の副産物である炭の新しい活用方法を検証することができた。②事業では、身近なてんぐら油を自動車燃料化することで、市民参加型の環境問題に対する取組として普及啓発が円滑に進み、資源循環型社会構築のための礎となった。③事業では、植樹したカエデ等の広葉樹については、樹液の採取可能な成木に育つ間、葉に含まれるポリフェノール成分を活用したラムネ・お茶などといった新たな商品開発等に民間を含めた協働での取り組みが推進されている。
実施事業について 成果が不十分である点	特になし。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	特になし。